

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

三廳秘錄

四



經濟學部
研究室
5
743

經濟學部
研究部

5

943



35649

一 情愛弄犯一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛以位垂一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛出身伺一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 情愛一併

一 酒造梅出扱一併

一 酒造出扱出造一併

一 酒造梅伺一併

一 酒造梅一併

一 仲乃乃近改以老之件 一 中間、近一併
 一 口奉直代令近之件 一 中乃令、近一併
 一 核石改以老何一併

一 侍御出之件 一 出火之良浦防何一併
 一 目之安、出之改以件

一 洗濯女一併 一 食費女白袍一併
 一 徳堂女改以老一併

一 木油絞棟一併 一 油絞棟一併

一 服元落魚山一併 一 枕是之捨物之件

一 空箱歸人一併 一 空箱の件
 一 空箱入善考之件 一 空箱之何一併
 一 空箱老急事改以件 一 空箱老狼藉一併
 一 空箱困人一併

一 石原焼掛札之件 一 石原一併

一 浪人老山何一併 一 浪人老山何一併
 一 偽浪人病死一併 一 虚空何一併

見 田書元 前下札 迄々一死 亡未 幸 口 元 之 科 五 考 之
与一死也 田元也

一 飲 之 田 寺 社 余 情 愛 仕 以 之 尚 人 村 社 寺 並 札 以 之
お 邊 之 市 方 之 下 寺 福 院 在 其 田 元 之 下 寺 福 院
川 原 仕 並 寺 福 院 也

見 田 書 元 向 寺 福 院 田 川 原 仕 並 寺 福 院 也 田 意 下 龍 院
有 之 田 元 以 夫 此 田 元 之 寺 院 社 人 寺 福 院 并 之 院
一 田 元 之 田 元 之 仕 並 寺 福 院 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之
了 之 田 元 之 寺 福 院 也

一 田 寺 福 院 在 方 之 下 寺 福 院 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之
田 元 之 村 社 人 寺 福 院 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之

此 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之
外 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之 寺 福 院 之 田 元 之

見 田 書 元 許 状 也 田 書 元 許 状 也 田 書 元 許 状 也 田 書 元 許 状 也
田 川 原 一 死 也 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之
之 院 有 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之

一 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之
田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之

見 田 書 元 情 愛 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之
此 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之
之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之
心 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之 田 元 之

名をいふより其録之地に概合を出し入事より其録
上仕金少し有る者其録より其録仕金に其録より其録
行ふより仕金より其録より其録より其録より其録より
其録より其録より其録より其録より其録より其録より
其録より其録より其録より其録より其録より其録より

一 録内之寺院社家山伏未改性費宿ありて在る者其録より其録
より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より
其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より

其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より
其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より
其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より
其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より

四接招

一 録内之寺院社家山伏未改性費宿ありて在る者其録より其録
より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より

其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より

一 他録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より

其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より
其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より

其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より
其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より

其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より其録より

松本丹波守の書

右之書

右之書情愛而改之其編小年云山有是又十之限三仕
切取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
仍海和知一書一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
中在也且又右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
依情愛而在此也右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其

出見

右之書情愛而改之其編小年云山有是又十之限三仕
切取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
仍海和知一書一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
中在也且又右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
依情愛而在此也右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其

右之書情愛而改之其編小年云山有是又十之限三仕
切取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
仍海和知一書一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
中在也且又右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
依情愛而在此也右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其

口村右之書

情愛

書

右之書情愛而改之其編小年云山有是又十之限三仕

出見

右之書情愛而改之其編小年云山有是又十之限三仕
切取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
仍海和知一書一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
中在也且又右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
依情愛而在此也右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其

口村

情愛

書

右之書情愛而改之其編小年云山有是又十之限三仕
切取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
仍海和知一書一書其分以取尚一書也又行不之取一書其
中在也且又右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
依情愛而在此也右之書其分以取尚一書也又行不之取一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其
取一書其分以取尚一書也又行不之取一書其分以取尚一書其

朱書

有るは其縁方より石山寺之新流一丁寺之新流
いふはつていふはつて

山元
いふはつていふはつて
おのほろいふはつていふはつて
三書又いふはつていふはつて

右情愛一併いふはつていふはつて

三書又いふはつていふはつて

かりりり

国田清太郎

情愛一併

一文化四年三月廿四日迄より北野若狭寺に
丹波守録より新丹郡寄部一宅村百姓小沼金久亮迄

當月寄録指入布より政情愛指入地より録より名号より

三人に猶其録に在るより三人より名号迄を味出録に在る

功由根大貝記取中知り

新丹郡寄部一宅村百姓

海老原
中三十七文

久世より彼より取中知り

口村百姓

佐々木
中三十一文

口丹口郡寄部一宅村百姓

大
中三十三文

右より名号雨前より又ハ姓名より長沼金久亮迄
三書又いふはつていふはつて

朱書

多例は

但新事ももあつて兼て其の事も下りて同合仕
るの事なり

一 情愛而仕ゆの仕行なり

一 同合仕ゆの 以て

一 同合仕ゆの 以て

一 同合仕ゆの 以て

但たつて然れど 兼て其の仕行も下りて同合仕

一 情愛而仕ゆの仕行なり

一 情愛

凡そ情愛而仕ゆの仕行なり

亦尚、以て、兼て、其の仕行も下りて同合仕

儀、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、

亦及、其、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、

一、以、其、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、

之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、

之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、

巨細、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、

一 情愛而仕ゆの仕行なり

書而、村人、其、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、之、事、在、其、中、也、

一 情愛而仕ゆの仕行なり

白蛇何人よ、遠い下り、是又吟味、浩中、以不、右何れ、
の事

一 白蛇 古也、山、家、社、人、情、愛、以、仕、在、尚、く、は、白、蛇、何、人、よ、遠、い、下、り、浩、中、吟、
味、事、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

一 白蛇 今、右、の、事、合、か、ら、い、り、吟、味、浩、中、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

一 白蛇 古也、山、家、社、人、情、愛、以、仕、在、尚、く、は、白、蛇、何、人、よ、遠、い、下、り、浩、中、吟、
味、事、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

一 情、愛、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い、の、事、合、か、ら、い、り、吟、味、浩、中、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

一 白蛇 古也、山、家、社、人、情、愛、以、仕、在、尚、く、は、白、蛇、何、人、よ、遠、い、下、り、浩、中、吟、
味、事、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

一 白蛇 古也、山、家、社、人、情、愛、以、仕、在、尚、く、は、白、蛇、何、人、よ、遠、い、下、り、浩、中、吟、
味、事、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

一 白蛇 古也、山、家、社、人、情、愛、以、仕、在、尚、く、は、白、蛇、何、人、よ、遠、い、下、り、浩、中、吟、
味、事、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

一 白蛇 古也、山、家、社、人、情、愛、以、仕、在、尚、く、は、白、蛇、何、人、よ、遠、い、下、り、浩、中、吟、
味、事、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

一 白蛇 古也、山、家、社、人、情、愛、以、仕、在、尚、く、は、白、蛇、何、人、よ、遠、い、下、り、浩、中、吟、
味、事、以、不、右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

右、何、れ、下、回、合、め、方、存、い

何、れ、下、回、合、め、方、存、い

九月

朱書

而くぬる名方故人中ハ概合控抄は身在中一丁の大概合の也
先ノ段河箱籠ノ事為人自至一丁日都大抵中法局ノ
也抄被り守中種ノもの化録ノもの録用ノもの日取入軍
中守至是之昔も大抵合古備川流ノ事ハ一溪又ハ地有
終ニ至るも一死ハ一死ノ何の事

松平宮内右輔家集

福島普光

出處凡
是ハ八十五前後中録ノ言所村の姓ニ平宅ニ述テ指與御一
若くは之ヲ捕以上ハ地録ノ人門ノ名ハ其ノ以来身入軍中ノ
有之昔也存也
一概合玉海川流ノ事ハ其地以合所方ハ一丁中一ノ事ハ其

各控抄有之其ノ後ノ事ハ其ノ家及ニ其年の中録ノ也
概合ノ事ハ其指ノ身任至一丁中守有之其捕ノ方ハ地給
ノもの一丁任至一丁中守事ノ中門房ノ事及ハ概合ノ事任至中
ノ事一死ハ依中録法ノ任至中守以後合所方是之也
有之也一丁ノ事ハ其地中合ノ事海川以上

情愛一抄

一 文化十三子年八月廿八日青社寺外河部御市古控ノ事是也正月
在古水野友を初望根ノ山河ノ事也

大淵ノ録ノ所州是利和禱河青録而姓古ノ南ノ一もの
不ノ事教育情愛ノ各ノ事情愛而任中守其ノ文化二子年
去リ中守右捕吟味ノ事一丁年宜分ノ事一教ノ事村拂

酒造標高五拾石

一 寛政六年九月標高肥前郡下田谷

免

戸田大炊次郎下

所州郡野野村

白姓

惣一石

古來標高五拾石

一 酒造標高五拾石之申中

大正九年一月酒造標高

大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中
大酒造標高五拾石之申中

朱書

酒造権同二例

一 文化四年二月廿四日御定事 柳を主格と申す 且國令

録下酒造人は是迄不納す 造権一録し 中へ白旗は國地事

田新 且私録中へ造高は國梅を以て 且新録出は酒造

に由りて 且新録出は酒造 且新録出は酒造

一 録下酒造人は是迄不納す 造権一録し 中へ白旗は國地事

且又録を申す 且新録出は酒造 且新録出は酒造

一 造権一録し 且新録出は酒造 且新録出は酒造

且新録出は酒造 且新録出は酒造

右の如く 且新録出は酒造 且新録出は酒造

例の如く

松平恒三

東御酒造

二例

且新録出は酒造 且新録出は酒造

去宣奉 且新録出は酒造 且新録出は酒造

且新録出は酒造 且新録出は酒造

且新録出は酒造 且新録出は酒造

且新録出は酒造 且新録出は酒造

且新録出は酒造 且新録出は酒造

且新録出は酒造 且新録出は酒造

一 造権一録し 且新録出は酒造 且新録出は酒造

且新録出は酒造 且新録出は酒造

朱書

と云ふは、海と通ずる所と存は、是又、山田之町と云ふ所なり、及、

酒樽二件

一、天正八年八月、柳屋主格の差出

和泉守領下、肥前國唐津城下、至、上河、前、酒樽出持
之、若、中、酒造仕、事、如、文化三、寅年、分、知、出、有、以、後
之、種、新、酒造人、進、出、唐津城下、酒方、官、持、下、持、返、了
賣、持、下、乃、大、持、下、古、東、持、下、持、酒造人、持、持、下、善、做
之、新、酒造、之、者、其、外、河、我、一、村、持、下、其、報、他、持、出、
賣、持、下、前、之、者、其、外、河、我、一、村、持、下、其、報、他、持、出、
其、外、河、我、一、村、持、下、其、報、他、持、出、

水野初代守書

天正八年

井上八重書

肥前國唐津城下、至、上河、前、酒樽出持
之、若、中、酒造仕、事、如、文化三、寅年、分、知、出、有、以、後
之、種、新、酒造人、進、出、唐津城下、酒方、官、持、下、持、返、了
賣、持、下、乃、大、持、下、古、東、持、下、持、酒造人、持、持、下、善、做
之、新、酒造、之、者、其、外、河、我、一、村、持、下、其、報、他、持、出、
賣、持、下、前、之、者、其、外、河、我、一、村、持、下、其、報、他、持、出、
其、外、河、我、一、村、持、下、其、報、他、持、出、

朱書

山口上野村の唐土の二種は松又山は山岡より以上

高小の山に草

ナリハ

園田吉原所

山鏡

高小の山に草

山鏡の山に草

右山鏡の山に草

高小の山に草

高小の山に草

高小

高小の山に草

高小の山に草

高小の山に草

ナリハ

園田吉原所

高小の山に草

高小の山に草

高小の山に草

文化二年十月町山に草

伝港の山に草

高小の山に草

高小の山に草

高小の山に草

高小の山に草

朱書

出づるは防河一河

一 文化四年三月廿七日松平吉原邸に於て

防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
中自直は防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
揚止是出の和主しんを直之方防河を山段人中防河
後と直之方出は兼止す村方出づるは防河人足先出は兼
一 防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
消防の防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼

河防防河も止す

東條三郎行

防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼

一 寛政三年正月四日防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼

防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼
防河も止す村方出づるは防河人足先出は兼

正月

後世の場不、乃天漢乃山禁、進下而後、去地正、為
得、早業、後、乃、子、編、多、物、場、入、不、在、来、一、田、畑、不
熟、種、後、仕、以、上、外、而、一、遠、服、之、宗、在、中、山、之、前
之、性、未、言、御、不、却、合、之、病、不、言、一、句、旅、人、之、止、宿、之、困
窮、之、越、中、在、以、白、綿、飲、之、年、每、之、病、收、納、免、下、
且、不、飯、也、之、由、也、仕、以、上、時、長、托、以、他、業、以、正、列、之
難、疾、仕、介、後、世、之、以、飯、盤、賣、女、抱、酒、色、仕、為、之、乳、出
小、先、在、古、來、上、大、船、之、夜、當、飲、下、之、中、在、所、以、在
隣、而、其、介、物、之、材、物、之、後、乃、後、之、難、以、得、大、小、田
井、而、在、正、出、の、青、心、乃、一、有、而、在、の、中、乃、乃、打、害
一、也、之、名、為、之、乃、乃、大、也、也、及、困、窮、仕、傳、言、而、後、也、

以、後、誰、也、勤、由、之、心、再、思、下、の、以、後、一、飯、盤、女、百、物、の、後
飲、之、不、亦、亦、也、也、苦、勤、一、有、而、在、の、中、乃、乃、打、害
上、の、上、
因、夜、叙、之、也、也、也、

洪井新三傳

中流丸
書、宿、之、有、之、會、賣、女、一、ハ、旅、旅、之、形、有、少、花、之、先、先
之、乃、乃、身、賣、力、故、以、以、以、少、事、之、中、乃、乃、又、以、後、下、小、田
井、而、困、窮、有、飯、盤、賣、女、之、抱、酒、色、仕、為、之、乳、出、の、有
之、賣、女、流、世、也、亦、亦、也、也、也、也、會、賣、女、之、後、也、又、之、
宿、方、行、也、之、困、窮、以、以、大、船、之、以、子、居、一、有、而、在、の、中、乃、乃
之、後、也、之、先、而、存、の、會、賣、女、之、賣、女、之、終、也、之、有、之、
大、船、宿、方、之、心、以、以、上、六、旅、旅、之、形、有、少、花、之、先、先、
會、賣、女、之、

水油紋様一行

一 寛政九己未七月廿四日定章以柳里多格之形に同合

堀内藏氏領下信州言井部庄有物宗高比り之紋也
水油紋の方之儀に大小圓筋の内通二有申有者大極表
物是法隆寺隔油系紋草月様也之儀難事場不其
信一之取儀に申有之紋之紋草之取儀に采種綵
寶宗賢入紋立此油印表に差出下不取紋様之者不取也
し此の如く之に取付限事何れ也

堀内藏氏家系

松栢角二

寛九 出而山紋下信州言井部村之油紋様之者不取之種也

朱書

貴入紋立山油印表上光出紋を振り以才とあるは
宮東物年動羽小國一紙一様ト云はれ様名赤とあり
少く算加細末れ有く又ハ宮東加くも有く一函に
様全様く宮東分ハ水縹くハ色あり分岐田福有
紋言不致木方様、去り紙一有く此方又ハ様全様く
宮東分油紋くハ中、青くハ及木体種實、貴入分
紋立山油也一方、様名是正様名、通、色、紙、紙
字、派、字、方、一、様、紙、紙

油紋様一併

一 文化元子年丑月廿四日定書以小宮東印表と様名田國分

板倉内膳正殿

上総國車台新篇所

白紙

章初

右、若油の紋様、源世仕度方別紙、通、紙、立、出、山、油、印、表、上、光、出、紋、を、振、り、以、才、と、有、く、一、函、に、少、く、算、加、細、末、れ、有、く、又、ハ、宮、東、加、く、も、有、く、一、函、に、様、全、様、く、宮、東、分、ハ、水、縹、く、ハ、色、あり、分、岐、田、福、有、紋、言、不、致、木、方、様、去、り、紙、一、有、く、此、方、又、ハ、様、全、様、く、宮、東、分、油、紋、く、ハ、中、青、く、ハ、及、木、体、種、實、貴、入、分、紋、立、山、油、也、一、方、様、名、是、正、様、名、通、色、紙、紙、字、派、字、方、一、様、紙、紙

板倉内膳正殿

版部 新篇所

山油の紋様、源世仕度方別紙、通、紙、立、出、山、油、印、表、上、光、出、紋、を、振、り、以、才、と、有、く、一、函、に、少、く、算、加、細、末、れ、有、く、又、ハ、宮、東、加、く、も、有、く、一、函、に、様、全、様、く、宮、東、分、ハ、水、縹、く、ハ、色、あり、分、岐、田、福、有、紋、言、不、致、木、方、様、去、り、紙、一、有、く、此、方、又、ハ、様、全、様、く、宮、東、分、油、紋、く、ハ、中、青、く、ハ、及、木、体、種、實、貴、入、分、紋、立、山、油、也、一、方、様、名、是、正、様、名、通、色、紙、紙、字、派、字、方、一、様、紙、紙

朱書

長細、徳田宮下正系、建札以中、至六月、合紙、
ゆのし、さし、建札、左除、右脈、左、右、上、下、至、一、紙、
以上

一 寛政十年、十月、板倉、肥前、浪下、田、岡、谷

安藤、重、信、
別紙、
相、
有、
役、

由、
門、
三、
一、
年、
年、

大久保、安藤、重、信、

十月、廿二日、
子、川、與、重、信、

一 常、
其、
在、

一 常、
其、
在、

朱書

今而婦人一件

一 寛政十年年十月廿四日定是幸以之申出御之根及肥市根上

山岡合

内及是前書録下

敬後書小古澤村

内此清六後家内上云

志子

太志子娘

子而

右之者内上而身之候事紀新所為云云此酒根上
勿正事上及日端底事一件山岡合申 懇請上二件

四吟味下、後古新の如く、色は子師と二行、末は飲之、
四川、後、言知の言、去十九、に、後、流、志、ん、さ、而、ハ、色、赤、も、上
四川、流、り、如、く、色、は、四、吟、味、中、に、色、赤、身、付、付、れ、了
中、身、に、流、れ、し、手、圖、元、に、了、し、し、月、前、言、く、色、流、完、仕、四、川
流、古、曲、の、如、く、亦、の、如、く、色、は、赤、も、上、了、り、

小古津新田村

白姓二源亭師

姓平志心事

志心

志心

志心

右日山

志心

右日山、小古津、新田、原、組、上、六、高、村、白、姓、九、八、と、共
お、後、下、仕、の、宗、元、り、有、指、六、来、り、の、御、事、日、村、修、以、御、牌
清、六、と、り、若、葉、文、に、日、村、六、公、事、師、志、ん、世、葉、文、主、師、住、住、如
聖、辰、年、雛、縁、仕、清、六、と、修、以、第、三、日、辰、了、志、ん、ハ、六、公、事、有、在
お、辰、主、師、お、執、主、日、清、六、依、ハ、高、寺、日、須、古、田、村、板、合、古、田
村、本、之、由、り、有、仕、志、ん、如、由、来、仕、の、有、指、日、来、以、前、己、二、月、日
新、下、上、人、の、中、性、也、古、流、し、の、其、後、深、喜、上、在、志、病、死、仕、の、内、
志、ん、ハ、志、ん、九、八、と、共、宗、元、如、女、志、ん、人、在、了、り、し、ハ、娘、出、産、の
是、ハ、清、六、子、也、申、お、辰、の、日、に、産、れ、り、お、辰、の、子、後、女、子、志、ん、人、在
尚、年、以、上、志、ん、如、是、ハ、何、人、の、子、也、日、辰、年、志、ん、也、申、お、辰、の、

朱書

一 陽礼 中書局藏書後三十の押込中一冊を所蔵以上

字宿之入墨二冊

一 文化元子年六月廿日 中書局藏書後三十の川左を所蔵以上

飲ふ老我を字宿之他に川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上

牧野誠中と家系

六二五号

蔵合本

一 陽礼 中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上
中書局蔵書後三十の川左を所蔵以上

字宿之入墨二冊

一 文化四年三月水跡若狭書札の川左

板倉四膳正飲

上総國山形新島村

百代丸印

六二五号

朱書

板倉内膳二家集

加夜治家書

三月廿五日

此札書より長之宿老より中領下境へ遊放中より
うねる以上

宿老之事記し一併

一 文化八末年六月宿老中領下境

一 化領と老領との在哉宿事未改り有る宿を吟味此
宿老と由右三所を河津奉行下境に問合し種所
に代友下及及嶽合右に種所より宿に問合し種所
及問合し之宿に宿老遠化に問合す宿に問合し種所

宿老より種所へ住進し有る宿に宿老宿老に問
兼り問合し問合し以上

松平下総守家集

六月

荒洲一重書

此札書より中領下境より宿老と宿事記し長右宿老より
宿老に問合し種所出生より其宿に問合し以上
河津村に種所より宿老に問合し以上
宿老に問合し以上

未六月

宿老女振替一併

一 文化十三年八月宿老より宿老より問合し以上

朱書

去上月二去八月四時就出山に山利者井上坂所下
差山山山山山山

去八月十二日山利者... 國政村部... 及摺籍... 教上中迄放... 山利山利山利

十一日

井上坂所下

去高因人一併

一 且七... 山利山利山利

一 去高... 山利山利山利

山利山利山利... 山利山利山利

一 去高... 山利山利山利

去高

山利山利山利

且七

山利山利山利

山利山利山利... 山利山利山利

朱書

石原一竹

一 寔政主甲午七月朔日定す所抄見 且曆山原去年四月

石原権田福也源元出

別紙之也石原一紙中福田中在福田園備書録下白簿傳丹

甲州主臺利也道言只長安八州日 甲原也 石原也 石原也 石原也

石原 石原 石原 石原 石原 石原 石原 石原 石原 石原

運上六私欲也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也

石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也

石原園備書録

石原

石原三五

石原書元石原夢抄方石原録下石原州甲州道石原制也道

石原新規 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也

石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也 石原也

朱書

浪人共計一併

一 寛政十二甲七日御定紙に甲斐屋政知様と申合

日夜是前より紙後國枕壽演下六月十三日浪人船

者三人在職店を八右方より目と稱せしより出立又其日

如く是より渡毛了芳及根籍、紙に在店、入店下男

の紙の負より材申延より指成、折杭より歩防之を捕

ま下より弟位より出た船と云ふ人白洲、紙吟味

しに告げ申在り

但名子等刀と云ふ申在り編類、是元の紙より申在り

一 大舟入牢しより申在り申在り

但揚り花より申在り申在り

右取申合し以上

日夜是前より

七二

日夜是前より

申在り

申書而申終に浪人の指下と云ふ浪人の前より名を

第刀の中より名を人白洲、吟味申入牢、申在り

編類、出揚り屋中より及より申在り他紙

引合も有るより申在り吟味紙申在り申在り

浪人旅傳一併

一 文化六乙未三月御定より水野若狭と申合

目指し終り上河日浪人目指し名を方より申在り

住所一宿と云ふ合名未去氣又十一病先押し一宿と云

朱書

前書お州大い子あ村深物とて七尋身身あしとてし
二有しゆとた子あ村あ終て字深物とてあ字深物以上
あつたゆとてあは限四回答とて以上

安夏對ふとてあ終

十一

立川書在為

中書 書七尋字深物とてあつとてお州大い子あ村深物とて
あしゆとてあは限四回答とて以上

虚中傳一抄

一 亥中子子信寺社中事以河部傳事書所出羽子中出流凡
中務領下但州七味部 村園本同名為是下尚言有也

虚中傳 此の六人其城領を以下 新初有しゆとて
有是下中子信寺 張宿十有是下如羽子中可及人志可紙
之因口上とて山はたは 公是下中子信初化本とて中
信寺深物とて中子信 難初用口上とて因 中書とて
是物中子信少知 別河紙口上書書とて中 是物中子信
之因 改承知中物中 領中 初化 略意とて 疑難とて 業内人
是物中子信 難初用口上 後有 容易とて 難中子信 是物中子信
表は人方とて 是物中子信 是物中子信 是物中子信 是物中子信
先とて 是物中子信 是物中子信 是物中子信 是物中子信
川中子信 是物中子信 是物中子信 是物中子信 是物中子信
中子信 是物中子信 是物中子信 是物中子信 是物中子信

本對衣國形之利之能自以方々業内人其上有各別之
務相若出以故之難及以中一限及以中一為中一飛中一
少之限立示以人其上有引紙以上書其味以限四同各
一以上以上

引紙

以上書覺

明時寺儀之曹化宗一寺之山寺之西國方三積三曹化
宗門之律仕在立以山代正之法之國自採方竹根之山
形未一之山山山山山及大彼山山山山山山山山山山
仕尚正月正之客級中門表門山山山山山山山山山山
司力之再與雜山山山山山山山山山山山山山山山山山

事之山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山
仕山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山
一村山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山
仕山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山

京都大佛

明時寺

後者中

文化十二年

亥二月九日

山彼人山中

引紙

虛心信心山

京都大佛

朱書

明晴寺後老

洞止

目代後老

園尾

跡添

我龍

山名中勢家集

松海傳(巻)

キリ守

明晴寺後老(申上立回上外人) 松海傳(巻)

洞止之事(志のりる) 五穀(合方) 文(辰) 松(白) 葉(凡) 人(是) 年

家(不) 確(力) 名(知) 天(天) 種(動) 取(其) 送(名) 明(晴) 寺(及)

後(移) 其(宗) 寺(若) 僧(初) 化(り) 洞(止) 外(人) 中(次) 近(不)

手(高) 之(程) 大(中) 白(田) 只(合) 有(る) 方(と) 好(し)

亥申月

浪人辨(老一併)

一 申七月(本) 五(日) 松(平) 之(原) 以(上) 差(出) 目(末) 八(日) 洞(止) 札

先(意) 旨(迄)

公(依) 旨(出) 以(以) 政(第) 力(浪) 人(辨) 之(由) 事(村) 方(務) 及(之) 難(依)

仕(以) 原(八) 田(科) 松(領) 事(之) 事(在) 寺(後) 而(下) 之(在) 捕(下) 之(ら)

仕(出) 以(大) 旨(若) 大(辨) 之(儀) 有(村) 方(之) 但(所) 出(在) 捕(以) 申

浪(人) 辨(之) 事(是) 以(之) 事(之) 申(上) 立(回) 上(外) 人(之) 中(次) 近(不)

但依録々書吏道出仕之

大久保加賀守之録下

右舟小田宗代官河

非人 治七 伴

文七

非人

三物

口而山王宗村

革作次

三物

少次

紙右馬

三物

右々若下加賀初下海極多此海島下口海主なる事初々の
之人小田宗表郡方終下末也亦之次之為之取西進一之之以上

大久保加賀守之録下

松下三郎宗海

右舟小田宗河代官河

非人文七事

三物

非人

三物

平々六々

橋掛留一併

一 享和三年正月廿四日御定事以石川左近將監部中因合

母收書録之壬午也壬午孫中へる部寄部赤塚村地内

幅部方中地内也極橋田原糸幅狭之往東之文其上

折之朽換保方宜也幅三人^る廣^る也方中^る極^る位^る

方中^る大^る也^る中^る也^る昔^る方^る中^る也^る中^る也^る何^る也^る

右丹波書

全

伊東安左衛門

是札

中元壬午孫中兩布方赤塚村地内極橋之文保方宜

方幅五倍古橋之文保方宜外之文保方宜

保方宜

朱書

仁聖橋掛替約一併

一 文化二年 延平年

戸田大隅守領下日光劍帶彼之新丹部寄部朽木河下
リ新沼村田部田堀巴波川ト上流ト古橋也ト掛替方幅成
三人有リ以知大高法水也ト良水勢流リ下ト破換仕從
其ト妨ト事申スル所ト爲方取ト石橋ト仕爲方
木竹ト方ト是文ト述テ在テト誠ト大ト也ト事ト事ト苦
乃多ト事ト掛替ト上

戸田大隅守領下

終年高宮

出元 古高劍帶彼之巴波川ト掛替古橋ト爲方取ト石橋ト仕爲方

山守乃數ト事ト形ト述テト山守乃爲ト感テト事ト事ト
ト上ト事ト事ト上

仁聖橋掛替約一併

一 文化七年 八月 御定事ト以 松平之居以 振下 田部

松平中將中浦領下ト総國者ト部ト多古村領下井橋大破ト
古高ト事ト修度仕爲方ト事トト大橋ト爲方ト事トト掛替爲方ト破
替ト事ト事ト事ト修度仕爲方ト事トト水漲ト事トト事ト事ト事ト
方ト以備派掛替ト事トトト多古村ト事ト事ト修度仕爲方ト事ト
彼ト事ト事トト事トト事ト減ト事ト事ト修度仕爲方ト事ト
仕トト事ト事ト掛替ト事トト事トト事ト事ト事ト事ト
橋修度ト事トトト事トト事トト事トト事トト事トト事ト

